



進路だより

平成28年12月2日

第5号

岡山県立岡山支援学校進路指導係

HPアドレス <http://www.okasien.okayama-c.ed.jp/okayyo.htm>

人は誰でも家庭や職場、地域社会など様々な場所で自分の役割を果たし、自分らしく社会に参加しています。本校の児童生徒も、いろいろな人とのかかわり合いの中で、周りの社会に興味を広げ、将来につながる力を積み重ねていっています。

今号では、小学部での「キャリア教育」の取り組みをご紹介します。

★身辺自立（小学部2年生）

トイレには、自分の手ふきタオルの入ったポシェットを肩からかけて行き、終わった後には、手を洗う・チャックを開けてポシェットから手ふきタオルを出す・手をふく・片付けるところまで1人でがんばっています。

また、給食を食べ終わった後には、食器を落とさないようにボウルに重ね入れて自分で運んでいます。食後の机ふきも毎日、頑張っており取り組んでいます。自分のことは自分ですということを意識しながら、日々生活しており、毎日の積み重ねにより一人ですることが増えてきています。



★買い物学習（小学部4年生）

店員さんとのやりとりをしながら買い物をするを目標として、「生活」の時間に、トモニー（売店）に行きました。「こんにちは」と元気よくあいさつして、入店。事前に決めていた好きなお菓子を即座に探し出し、「これをください」とレジで依頼。代金を支払い、お菓子とレシートを受け取った後は、笑顔と共に最後のあいさつ「ありがとう」。笑顔と大きな声で、自信をもって発する言葉からは、やりとりをしながら、一人で買い物ができる満足感や充実感が伝わってきました。



★委員会活動（小学部6年生）

小学部5・6年生は「小学部の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して問題を解決しようとする活動の喜びを味わう」というねらいで3つの委員会活動に取り組んでいます。

その中でも生活委員会では、毎月の生活目標を作成し各学年に配付したり、洗面所のアルボースの補充を行ったりしています。アルボースの補充に各教室やトイレにいくと、友達や先生方が「今日もありがとう」「減っていたから助かるよ」と声をかけてもらえることが多く、活動の励みになります。

自分たちがしている活動が人の役に立つ喜びを感じています。



小学部では、上記のように「あいさつをする」「身の回りのことを自分でする」「自分の気持ちを表す」「感謝の気持ちを伝える」「様々な人とかかわる」「係や当番活動などで自分の役割を果たし、感謝される喜びを味わう」などに継続して取り組んでいます。

今回はごく一部の取り組みを紹介しました。将来の豊かな生活をイメージしながら、様々な場面において継続して取り組み、積み重ねていくことが大切だと考えています。

